

豊田市高等教育活性化推進プラットフォーム 中長期計画の進捗状況及び評価に関する情報

<中長期計画の全体評価>

中長期計画で立てた目標については、当初の計画を超え、目標を上回る顕著な成果が得られたため、自己評価は「S」とする。

昨年度、本プラットフォームの中長期計画で設定した12の課題と41の取組みについてそれぞれ目標となる指標を設けたうえで、中長期計画に基づき、着実に実行することができた。さらに計画の見直しにより、取組み項目41項目から50項目に増やした。豊田市と豊田市の高等教育が抱える12の課題設定時には、より具体的かつハードルの高い目標設定を意識し、プラットフォーム内での複数回の議論のもとで承認・決定を行った。結果として、一部の取組み目標においては、外的要因等により、数値上では指標を上回ることができなかつたものがあるが、同課題における他の取組みを追加で計画し、実行した実績が多いため、十分に補完することができたと考える。

プラットフォームを形成する4大学等が持つ幅広い6つの学問分野のリソースを十分に活用し、豊田市と連携したうえで、効果的・実質的な取組みを行い、豊田市の高等教育活性化と地域振興に関して、大きな成果が得られた。特に「ものづくり」の拠点である豊田市において、愛知工業大学・中京大学・豊田工業高等専門学校の「工学」「情報」分野の活用によるものづくり事業の促進、日本赤十字豊田看護大学の「看護学」分野の活用による地域住民の健康意識の醸成、愛知工業大学・中京大学の「健康・スポーツ」分野を活用した地域住民の健康・スポーツの促進に寄与するとともに、高等教育側の活性化にもつながった。今年度は新たにプラットフォームに産業界が加わることになったため、今後中長期計画の推進にあたって、より具体的かつ実質的な議論と取組みを実行していく予定である。

〔評価指標〕

- S：当初の計画を超え、目標を上回る顕著な成果が得られている
- A：当初の計画を着実に実行してきており、目標に対し十分な成果が期待できる
- B：当初の計画をほぼ実行できているが、一部に遅延、未達等の取組があり、目標の達成に継続した努力が求められる。
- C：当初の計画について半数以上の取組について未達であり、取組や目標に関して一定の見直しが必要である。
- D：当初の計画を大幅に下回っており、目標の達成見込みがないため、計画に関する抜本的な見直しが必要である。

<評価にあたっての留意点>

- 昨年度の中長期計画策定後に、新規の取組み事項の追加を行ったため、追加を含めて実績のある取組みの数は当初の 41 項目から 48 項目に増加した。
※中長期計画の取組項目は当初の 41 項目から 9 項目増やし、50 項目としたが、本達成状況評価シートでは、実績を記入することになっているため、取組項目のうち、今後の企画である「観光 PR の促進による地域活性化の実現」及び「共同の防災教育プログラムの実施」の 2 項目については、本達成状況評価シートから除外し、48 項目とした。
- 記録的猛暑等の外的要因により、一部目標未達の取組みがあるが、他の取組みとの相互補完により、概ね目標を大きく上回る成果が得られたといえる。
- 正式なプラットフォームの形成日は平成 29 年 10 月 25 日であるが、それ以前にもプラットフォーム形成予定大学等と豊田市で複数回の綿密な打合せ（プラットフォーム形成のための準備会議）を行い、中長期計画を立てるための十分な準備行っていた。準備会議では、これまでの包括連携協定及び豊田市大学等連携協議会をベースとした取組みについて、プラットフォーム形成後の中長期計画に盛り込むことを前提とした議論を行った。
- 自己評価の基準期間はプラットフォーム形成日（平成 29 年 10 月 25 日）から基準時点（平成 30 年 9 月 30 日）における実施状況となっているが、期間が 1 年間に満たしていない。そのため、基準時点以降（平成 30 年 10 月 1 日以降）よりプラットフォーム形成 1 年目（平成 30 年 10 月 24 日）の 24 日間における実施予定の取組みについては、備考として記述した。

<中長期計画の取組みごとの進捗状況・評価>

課題1. 郷土愛の醸成

取組目標1 : 教員の知見を活用したまちづくりへの参画機会の向上

取組概要1 : 「大学・高専発研究」への提案と実現

豊田市をフィールドとし、大学等の知見や教員の研究成果を活用したまちづくりに関わる政策(研究)の提案と実現

活動指標 : 提案数3件以上/年、実現数1件以上/年

実績 : 提案数3件、実現数1件

評価 : A

取組目標2 : 学生のまちづくりへの参画機会の向上

取組概要1 : 「学生によるまちづくり」への提案と実現

豊田市の都心・中山間地のフィールドを活用するために、学生の視点を活かした魅力あるまちづくりの提案と実現

活動指標 : 提案数3件以上/年、実現数1件以上/年

実績 : 提案数6件、実現数6件

評価 : S

取組目標3 : 豊田市に関する情報発信を行う

取組概要1 : ガクレポ! (「広報とよた」掲載のコーナー)での情報発信

大学生にレポーターとして紙面に登場してもらい、事業やイベント、公共施設、講座など、様々な現場を取材して、感想を交えながら紹介する。

活動指標 : 5回/平成29年度

実績 : 2回 (H29.12号、H30.3号)

※平成30年度は公募方式に変更となったため、プラットフォーム形成大学等の指定大学での実績がなくなった。

評価 : B

取組目標4 : 市政への参加意識を醸成する

取組概要1 : 大学構内に期日前投票所を設置

地域住民の利便性を高めるとともに、学生の市政への参加意欲や関心を高める。

活動指標 : 選挙回数

実績 : 1回

平成 29 年 10 月 17 日～20 日

衆議院議員総選挙の期日前投票所を学内に設置した。

評価 : A

課題 2. グローバル意識の醸成

取組目標 1 : 2019 ラグビーワールドカップ豊田市開催に向けての普及活動を実施

取組概要 1 : 2019 ラグビーワールドカップ豊田市開催に向けた大学祭での PR 活動支援

活動指標 : 2 回 / 平成 29 年度

実績 : 1 回

評価 : A

取組概要 2 : 2019 ラグビーワールドカップ豊田市開催を見据え、フェスタ等の各種イベントにおいて会場案内等のボランティア活動を通じて、グローバル意識を醸成する。

活動指標 : 1 回以上 / 年 (平成 31 年度まで)

実績 : 3 回

評価 : S

課題 3. 地元就職の促進

取組目標 1 : 各大学等の強みを活かした就職支援の他、インターンシップを通じた豊田市への就職等、地元就職を促進する

取組概要 1 : 豊田市の医療施設への就職を促進するために就職説明会を開催

活動指標 : 1 回以上実施 / 年

実績 : 1 回実施

評価 : A

取組概要 2 : 豊田市役所へのインターンシップ

まちづくり、農業、環境、産業振興、福祉、技術、保育、消防、防災など、多岐にわたる豊田市の業務について、インターンシップを通じて体験

活動指標 : インターンシップ参加 5 名以上 / 年

実績 : 14名

評価 : S

取組概要3 : 豊田市職員採用支援 (試験会場の提供協力)

豊田市の職員採用活動に大学が協力することで、効率的に採用試験を実施

活動指標 : 1回/年

実績 : 1回

評価 : A

取組概要4 : 豊田市「学生とハタラクをつなぐプロジェクト」の活動支援

大学生と地元企業の若手社員との懇談の場を設け、地域の魅力に気づいてもらうとともに、社会人との関わりの中で「ハタラク」ことの意義や価値について学ぶ。

活動指標 : 3回以上/年

実績 : 5回

評価 : S

取組概要5 : トヨタ自動車へのインターンシップを実施

スポーツトレーナーを希望する学生を対象に、トヨタ自動車ラグビー部への長期インターンシップを実施

活動指標 : 2名以上参加/年

実績 : 2名が参加

評価 : S

課題4. 健康意識の醸成

取組目標1 : 地域住民の健康意識を高める

取組概要1 : 摂食嚥下障害予防のためのつばめ体操普及活動実施

活動指標 : 1回以上/年

実績 : 1回実施

評価 : A

取組概要2 : ブラジル人学校における身体測定の実施

活動指標 : 1回以上/年

実績 : 1回実施

評価 : A

取組概要3 : 体育館、運動場等の施設利用を促進し、地域住民の健康意識を高める。

活動指標 : 100件以上利用促進/年

実績 : 407件/年

評価 : S

課題5. 防災意識の醸成

取組目標1 : 学生・地域住民の防災意識を高め、災害発生時に備える

取組概要1 : 学生消防団による防災活動を通じた地域貢献

活動指標 : 学生50名以上が参加/年

実績 : 合計73名

評価 : S

取組概要2 : 大学祭での消防団入団促進のためのPR活動を実施

活動指標 : 1回/年

実績 : 1回実施

評価 : A

取組概要3 : 大規模災害を想定し、災害発生時には互いに協力して市民、学生の生命を守る活動をするための定期的な話し合いの場を設ける(プラットフォーム運営会議にて実施)

活動指標 : 2回以上/年

実績 : 4回

評価 : S

課題6. 環境教育の推進

取組目標1 : 地域環境の改善を促進する

取組概要1 : 本校最寄り駅から本校周辺地域の環境美化活動(清掃活動)の実施

活動指標 : 5回/年

実績 : 4回

評価 : B

取組概要2 : エネルギーの地産地消に向けた取組みとして、小規模水力発電に注目した社会人向け地域活性化マイスター養成講座の開催

活動指標 : 2日/年

実績 : エネルギーの地産地消に向けた取組みとして、小規模水力発電装置を実際に豊田市山間地に設置し、地域住民のエネルギーの利用及び学生の環境教育を推進する取組みを2日間行った。

評価 : A

課題7. ボランティア活動の推進

取組目標1 : 授業形式によるボランティア教育と実際に現場で体を動かすボランティア活動を推進することにより、地域貢献意識を高める

取組概要1 : 「ボランティア活動論」の授業を開講することにより、ボランティア活動に関する教育を行う。

活動指標 : 1コマ/年

実績 : 1コマ開講

評価 : S

取組概要2 : 学生が自治区主催の清掃活動やイベントにボランティアとして参加し、地域に根ざした活動や活性化に向けた取り組みを行う。

活動指標 : 3回/年

実績 : 学生会による地域自治区主催イベントへのボランティア参加、吹奏楽部による障がい者福祉施設への訪問演奏及びジャグリング部による地域子供会への訪問演技を計3回行った

評価 : A

課題8. 地域の学習支援の推進 (学校教育活動支援)

取組目標1 : 学生・教員・初等中等教育機関が一体となり、初等中等教育に対する教育活動支援を行う

取組概要1 : 高校生対象の職業意識を醸成するために、出前授業・模擬授業や進学情

報交換会を実施する。

活動指標 : 1回以上/年

実績 : 3回実施

評価 : S

取組概要2 : 豊田市教育委員会や小中学校教員と大学教員間の情報交換・意見交換

活動指標 : 2回程度/年

実績 : 合計4回

評価 : S

取組概要3 : 豊田市教育委員会職員や小中学校教員を大学の授業への特別講師として派遣する。

活動指標 : 1回/年

実績 : 0回

評価 : B

取組概要4 : 小中学校に対して、大学生を派遣し、授業支援を行う

活動指標 : 1回以上/年

実績 : 24回

評価 : S

取組概要5 : 小中学生向け出前授業、理科教室及び豊田市と連携した「とよたサイエンスクラブ」の講座を開催

活動指標 : 20講座/年

実績 : 49講座実施

評価 : S

取組概要6 : 図書館への英文多読・多聴の普及活動

活動指標 : 6講座/年

実績 : 6講座実施

評価 : A

取組概要7 : 豊田市の中山間地域の一つである笹戸地区において、地元自治会の協力を得て、「ドミタウン」プロジェクトを学生が中心となり実施する。また、豊田市街地の小学生を集め、セカンドスクールを行う

活動指標 : 自治区との共同イベント3回/年、
セカンドスクール1泊2日×2回/年

実績 : 小学生を対象とした稲刈り等のイベントを3回実施した。また、1泊2日のセカンドスクールを2回実施した。

評価 : A

課題9. ものづくり事業の更なる展開

取組目標1 : 地域発イノベーションを創出し、地域産業の進展に寄与する

取組概要1 : 新技術・新産業創出支援セミナー・イベントの開催

活動指標 : 5件以上/年

実績 : 6件開催

評価 : S

取組概要2 : 製造技術者育成講座の開催

活動指標 : 5件以上/年

実績 : 6件開催

評価 : S

取組概要3 : 学生が中心となって、小型自動車「コムス」を用いた新たな技術開発を行う。

活動指標 : 約50名の学生にて技術開発を行う

実績 : H29: イベント参加までの期間が短かったことからテーマを絞り以下の取り組みを実施した。

- ・イベント用のコムス外装デザイン
- ・VRを用いたコムス運転体験システム
- ・コムス周囲360度画像取得システム
- ・「KiTARA オープニングイベント」でのラッピングコムス展示とVR体験イベントの実施

テーマを絞ったため参加学生が計画を下回ったが、成果は予想以上のものであった。

4名の教員と14名の学生で実施

H30: コムスを利用した学部・学科横断型研究プロジェクトを立ち上げた。本プロジェクトでは、高機能な遠隔操縦付き自動走行車の実現を目指した関連要素研究を始めとし、学部・学科横断でコムスを利用した研究・教育・学外広報活動

を行う事を目的とする

評価 : S

取組概要4 : 学生と現役地元企業技術者との混成チームで実施する。

活動指標 : 1 講座/年

実績 : 学生と現役地元企業技術者との混成チームによる「ものづくり一気通観エンジニアの養成プログラム」を1年間にわたって開講した。

評価 : A

取組概要5 : 地元産業界と大学等による共同研究・施設の共同利用 (平成30年度追加目標)

活動指標 : 平成31年度に研究報告をまとめる

実績 : 基準時点内に、本格的な研究を行うための実験等の準備を実施

評価 : S

課題10. スポーツ活動の促進

取組目標1 : 地域の子供達を中心に平成32年開催の東京オリンピックや平成38年開催のアジア大会(名古屋開催)も見据え、地域住民のスポーツ活動を促進する

取組概要1 : 子どもの体力づくり教室

陸上競技を中心とした子どもと保護者の体力養成

活動指標 : 4回以上/年

実績 : 5回

評価 : S

取組概要2 : MIRAIへ繋ぐ夢の教室 in 豊田(トヨタ自動車、日本サッカー協会、豊田市、大学の産官学連携事業)を実施し、アスリートが小学校を訪れ、夢を持つ大切さ、努力、チームワークの必要性を伝える

活動指標 : 7クラス以上開催/年

実績 : 7クラス

評価 : A

取組概要3 : 豊田市スポーツ推進審議会での協議

スポーツ推進会議を開催し、スポーツコミッションに関する検討、提言書の作成等を行う

活動指標 : 3回開催/年

実績 : 2回

評価 : B

取組概要4 : 中京大学出前スポーツスクール

夏休みを利用した小学生対象(4年生~6年生)の出前スポーツ教室を実施

スポーツ推進会議を開催し、スポーツコミッションに関する検討、提言書の作成等を行う

活動指標 : 2回実施/年

実績 : 記録的猛暑により、児童の健康を考慮して実施をとりやめる通知が豊田市よりあり

評価 : B

取組概要5 : 豊田市のこどもの体力向上

平成30年度豊田市地域スポーツ推進連携事業として、オリンピック等の優秀な人材の活用により、豊田市の子どもの体力向上を図る

活動指標 : ・子どもスポーツフェスタ2回以上/年 ・合同練習会2回以上/年

実績 : ・子どもスポーツフェスタ6回開催(うち、1回は平成30年10月6日に実施
※基準時点外であるが、平成29年10月25日のプラットフォーム形成後1年以内となる)

・合同練習会4回開催

平成30年度の新規の取組みである

評価 : S

取組概要6 : 有カアスリートを市民が応援

豊田市ゆかりの有カアスリートを「豊田市わがまちアスリート」に認定し、市民が一体となって応援するプラットフォームを形成。

活動指標 : 豊田市主催のイベント協力1件以上/年

実績 : 3件実施

評価 : S

課題1 1. 生涯学習の推進

取組目標1 : 高等教育機関と地域が一体となり生涯学習を推進する

取組概要1：地域住民に対する公開講座の実施

活動指標：7回以上/年

実績：7回実施

評価：A

取組概要2：大学図書館の共同利用（地域住民への開放）

活動指標：100名以上利用/年

実績：203名利用

評価：S

課題12. プラットフォーム形成組織の連携強化

取組目標1：豊田市と大学等間及び産業界の連携を強化し、豊田市の高等教育を活性化する

取組概要1：プラットフォーム共同のFD・SDの実施

活動指標：1回以上/年

実績：2回実施

評価：S

取組概要2：特定の地域の地元企業等の採用動向について、豊田商工会議所に対して定期的にヒアリングを実施、自己点検の際に反映させる。

活動指標：ヒアリングの実施（1回/年）

実績：2回実施

評価：S

取組概要3：プラットフォーム運営会議を定期的に開催し、中長期計画に係る企画立案や進捗状況の確認などを行う。

活動指標：2回以上/年

実績：11回開催

評価：S

取組概要4：プラットフォーム大学等部会を定期的に開催し、大学等間の連携強化や取組に関する協議を行う。

活動指標：2回以上/年

実績 : 11回開催

評価 : S

取組概要5 : 豊田市と大学との人事交流

豊田市職員を大学等に派遣することで、連携を深め、プラットフォーム活動を促進する。

(次年度に向けて企画する。)

活動指標 : 1回/平成31年度

実績 : 平成31年度実施することを新規に企画した

評価 : S

取組概要6 : プラットフォーム形成大学等間の単位互換

活動指標 : 20科目以上/年

実績 : 33科目実施/年

平成30年度の新規取組みとして追加した。

評価 : S

取組概要7 : 共同の学生募集活動

活動指標 : 高校訪問1回以上/年

説明会1回/年

実績 : 高校訪問2回実施

説明会1回実施

平成30年度の新規取組みとして追加した。

評価 : S